（別紙１）

# 試験研究活動情勢報告（平成３０年６月分）

【果樹試験場】

## 施設カンキツ栽培における総合的害虫管理技術（IPM）の体系化

放飼の状況

果樹試験場では2010年より施設カンキツ栽培における総合的害虫管理技術（IPM）の体系化に取組んでいます。ミカンハダニの天敵であるカブリダニ製剤を利用するに際しては、ミカンハダニの密度がゼロの時に放飼すると防除効果が高いこと、天敵保護装置等を用いて増殖環境を維持すること、カブリダニへの悪影響が少ない薬剤を選択することが重要であることを明らかにしました。

今後は、現地での取組みを支援するとともに、ミカンハダニだけでなく難防除病害虫であるアザミウマ類の防除技術について、物理的防除と化学的防除を組合わせた技術を実証し、より良い体系の作成を目指します。